

Q-STEER の制御ファームウェア pre

- ・ターゲットハードウェアは IPI さんの USB232B/AT90S
- ・上記基板だと、PC から TeraTerm 等で簡単に実験できます。制御アプリもシリアル通信で組めます。
- ・もちろん単体の AVR に焼いても動きます。
- ・AVR(AT90S2313) 11MHz くらいを想定した定数の設定になっています (オーバークロックですが、上記基板がそうなので ..)。
- ・アーカイブは WinAVR20060421 + AVR Studio 4.12(SP4 build 498) のプロジェクトのスナップショットになっています。
 - ・ (2008/1)WinAVR20071221 + AVR Studio 4.13(SP2 build 571) でもこのまま「ビルドできる」ことは確認しています (動作は未確認)
- ・カウンタ 0 を赤外線コマンドの 1 単位を作成するための割り込みに、カウンタ 1 を 38KHz 変調用に使っています。
- ・赤外 LED を PB3 (カウンタ 1 出力、IPI の上記基板だと 4pin) と GND(同 12or14pin) に接続するだけ (ちゃんと電流制限したい人は R 入れてね)。
- ・2313 内蔵シリアル通信 (TXD,RXD) に対して、非同期 19200bps,8bit, ノンパリティでコマンド送信してください。
- ・コマンドはすべてシリアルからの 1 キャラクターで、エコーバックが返ります。
- ・`a``b``c``d` (大文字も) はバンド切り替えです。そのほかはシリアルで受信したキャラクターの下位 4 bit の「コマンド」(参考ページをみてください) を Q-STEER に対して 2 回送信します。
- ・ライセンスは「煮るなり焼くなり好きにして」ライセンスです。なにかの参考になれば幸いです。
- ・ダウンロードはこちらからどうぞ

-
- ・参考にさせていただいたページ

Q-STEER 赤外線信号解析